

令和2年度

由布市総合計画・重点戦略プラン

進捗状況評価報告書

～令和元年度実施事業分～

総合計画審議会

(総合政策課)

総合計画(重点戦略プラン)の進行管理について

この報告書は、由布市第2次総合計画、とりわけ重点戦略プラン(13プラン)に係る行政の取り組み・進捗状況について、総合計画審議会(※外部有識者15名)による評価を実施し、今後の取組の方向性を定めるものとして活用する事を目的としています。

1. 進行管理の目的

第二次総合計画の策定方針にも掲げた1つである「進行管理、成果検証、課題分析、計画の見直しが着実に実施できる計画」に基づき、総合計画の実効性を担保するため、計画に掲載されている施策・事業の進行管理を適切に実施するための仕組みを構築し、計画の進捗状況を進行管理します。

<総合計画の特徴>

総合計画は、将来にわたって市民や行政など多様な主体の協働の基盤となる共通指針であり、第二次総合計画については次に掲げる特徴を持った計画として策定した。

- ①市民との協働による計画づくり
- ②わかりやすい計画
- ③実現性の高い計画
- ④進行管理を適切に実行できる計画づくり

2. 仕組みの構築

第二次由布市総合計画の策定時からの方針もあり、従来からの総合計画審議会の任務に加え、計画を進行管理する役割を追加し、由布市総合戦略も同時に行うことのできる進行管理機関として位置付けた。平成28年度をスタート年とし、本年の評価で4年度目

3. 進捗状況の検証

総合計画及び総合戦略の進捗状況管理を行う。

まず、行政内部においてPDCA サイクルマネジメントを実践するため、各担当部署で事務事業事後評価表を作成し内部評価を実施する。次に、総合計画審議会を開催し、作成した事務事業事後評価表をもとに担当部署も出席の上、審議会において計画の進捗状況について検証、分析を行う。

4. 検証の流れ

本年度の評価検証については、下記のとおり実施しました。

【実績】

日時	項目	内容
令和2年5月15日	総合政策課より 各課へ「事務事業事後評価表」作成依頼	締切日 6月5日(金) ※各課において作成・内部評価①を実施
6月29日	内部評価を実施	
8月20日	令和2年度第1回 総合計画審議会 開催	今年度の審議会開催内容等について
本年度の評価について 新型コロナウイルス感染症対応及び7月豪雨災害に係る対応もあり、一堂に会しての評価・説明を行う事及び事業担当課による説明が難しいことから、評価資料に基づき評価を実施する。 ※取組み状況が不明な場合は、事務局(総合政策課)へ問い合わせを行う。		
9月30日	評価表集約	

5. 検証手法

(1)検証の対象

第二次総合計画では、将来都市像を実現するため、6つの『まちづくりのテーマ』に14の『施策分野』、17の『施策目標』を掲げているが、進行管理を行うにあたっては、重点戦略プランを構成する13のプロジェクトについて検証を行うものとする。

(2)進捗状況の評価

市民の視点から評価する「市民意識調査」と、定量的・客観的で分かりやすい「客観指標評価」の二つの手法を用いて、客観、主観の両面から進捗状況の検証を行う。

また、「行政の取組状況」の結果と併せ、事前に行政内部において計画の進捗状況の検証、分析を行い、内部評価を実施し、外部評価委員会(総合計画審議会)において内部評価に至った経緯やその分析結果についてヒアリングを行い、今後の取組の方向性や審議会からの意見を付した上で、各分野の進捗状況を最終評価する。

①市民意識調査(平成29年度調査分)

総合計画の現状について、市民がどのように感じているかを尋ねる市民意識調査を実施し、その結果に基づいて5段階評価を行う。評価に市民の実感、満足度という尺度を加えた市民による評価としている。

① 市民意識調査結果 評点表

「市民意識調査」(直近)結果での、該当項目に係る「重要度」「充足度」に対し平均値(四捨五入)

重要度	平均点数	充足度	平均点数
重要	5点	充分	5点
やや重要	4点	やや充分	4点
あまり重要でない	3点	やや不充分	3点
重要でない	2点	不充分	2点
分からない	1点	わからない	1点

②客観指標評価

重点戦略プランの13のプロジェクトに掲げている「目標」の実現に向けて、その達成度合いを測るモノサシとなる客観的に数値化している指標を設定している。客観指標の達成度により5段階で評価する。

②客観指標結果 評点表

「事務事業評価調書」に記載されている成果指標1つに対し

達成率	点数
90%以上	5点
60%～90%未満	4点
30%～60%未満	3点
10%～30%未満	2点
0%～10%未満	1点

指標が2つ以上ある場合は、それぞれに点数を付し、平均点(四捨五入)で換算する。

平均点数	評価	評価内容
5点	A	目標が十分に達成されている
4点	B	目標がかなり達成されている
3点	C	目標が概ね達成されている
2点	D	目標があまり達成されていない
1点	E	目標が達成されていない

③行政の主な取組状況

「目標」の実現のために市が取り組む主要な事業(重点戦略プラン)について、当年度末の成果指標を各々検証し、各担当部局において設定した目標の達成状況から自己評価を行う。

③行政取組状況結果 評点表		
「事務事業評価調書」に記載されている2次評価結果により		
点数	評価	評価内容
5点	A	継続して事業実施
4点	B	見直して事業実施
3点	C	休止
2点	D	終了
1点	E	廃止

④総合評価

①市民意識調査、②客観指標評価、③行政の取組状況を踏まえて、「目標」にどれだけ近づいているか、かつ社会情勢等を総合的に勘案し、「目指す姿」への実現に向けて設定した目標への程度進捗しているかを下記A～Eの5段階評価で内部評価を行う。

④総合評価		
①～③の合計点		
合計点	総合評価	評価内容
17点以上	A	事業・取組が十分に達成されている
12～16点	B	事業・取組がかなり達成されている
8～12点	C	事業・取組が概ね達成されている
4～7点	D	事業・取組があまり達成されていない
1～3点	E	事業・取組が達成されていない

⑤総合計画審議会の意見

審議会において取組内容・進捗状況やその分析結果をヒアリングし、審議会としての意見を付す、あるいは理由を付した上で、最終的な進捗状況の評価を行う。

⑤審議会委員 評点表		
審議会委員の評点の平均点		
点数	評価	評価内容
5点	A	事業・取組が十分に達成されている
4点	B	事業・取組がかなり達成されている
3点	C	事業・取組が概ね達成されている
2点	D	事業・取組があまり達成されていない
1点	E	事業・取組が達成されていない

(参考1：評価表)

プラン1：地域防災力強化プロジェクト

点数欄のいずれかに○を付けてください。

区分	評価点数（評価基準は別途参照）				
妥当性	5	4	3	2	1
有効性	5	4	3	2	1
効率性	5	4	3	2	1
地域性	5	4	3	2	1
協働性	5	4	3	2	1
平均点	※事務局計算				

※平均点（四捨五入）を下記に当てはめる。

点数	評価	評価内容
5点	A	事業・取組が十分に達成されている
4点	B	事業・取組がかなり達成されている
3点	C	事業・取組が概ね達成されている
2点	D	事業・取組があまり達成されていない
1点	E	事業・取組が達成されていない

事務局計算

(参考2 評価基準)

評価基準

評価表の評価(1～5)は下記の基準を目安に外部評価(総合計画審議会)を行っています。

項目		評価の視点
妥当性	行政が関与すべきか	この事業を市が行わなければならないのか 税金を投入して行うべき事業か
	住民ニーズは高いか	住民に求められている事業であるか 社会情勢が変化し、事業の必要性が低下していないか
	目的・対象は妥当か	事業の対象・目的は適切か 事業の対象・目的に改善の余地はないか
有効性	事業の効果があるか	事業の目的が効果的に達成されているか 廃止・休止した場合、住民生活に多大な影響があるか
	成果向上の可能性	成果を向上させる余地(必要)があるか 成果向上が期待できない原因は何か
	長期計画への貢献度	事務事業の目的が、市の政策体系に結びついているか 政策目標実現のため、確実に貢献しているか
効率性	手段は最適か	目的達成のために、他に効率的な方法がないか 類似事業との統廃合の余地はないか
	低コスト・効率化	成果を下げずに、事業費を削減できないか 事業費を削減した場合の影響の有無と問題解決はどうか
	受益者負担は適切か	受益者に対して、適切な負担金を徴収しているか 住民間に不公平感がないか
地域性	市内へ適切に対応しているか	住民に対して制度周知・説明対応が行われているか
	地域状況を把握しているか	地域実情に応じた対応は適切か
協働性	政策間連携が図られているか	行政内部での政策間連携が調整されているか
	市民との協働が図られているか	市民との協働について適切か

項目		5	4	3	2	1
妥当性	行政が関与すべきか	・積極的関与 ・非常に高い	・関与すべき ・やや高い	・一定程度関与すべき ・普通	・本来関与すべきでない ・稀である ・過剰/不足部分がある	・関与すべきでない ・求められたことはない ・不適切
	住民ニーズは高いか	・適切	・概ね適切	・概ね適切		
	目的・対象は妥当か					
有効性	事業の効果があるか	・非常に効果的 ・必要十分 ・大変効果的	・概ね効果的 ・概ね十分 ・効果あり	・概ね効果的 ・向上の余地あり ・貢献している	・効果的でない部分あり ・向上は難しい ・効果不明	・大半が有効でない ・向上は見込めない ・効果は見込めない
	成果向上の可能性					
	長期計画への貢献度					
効率性	手段は最適か	・最適な手段 ・最も効率的 ・適切	・ほぼ最適 ・概ね効率的 ・概ね適切	・検討する部分あり ・やや効率的 ・概ね適切	・検討する必要あり ・改善余地あり ・やや適切でない	・手法に問題がある ・他の方法がある ・不適切
	低コスト・効率化					
	受益者負担は適切か					
地域性	市内へ適切に対応しているか	・適切 ・十分	・概ね適切 ・概ね十分	・検討する部分あり ・概ね十分	・やや不十分 ・やや不十分	・不適切 ・不十分
	地域状況を把握しているか					
協働性	政策間連携が図られているか	・適切	・概ね適切	・検討する部分あり	・やや不十分	・不適切
	市民との協働が図られているか					

⑥最終判定

⑥最終評価		
④総合評価及び⑤審議会委員評価の合計		
合計点	総合評価	評価内容
21点以上	A	計画が十分に達成されている
16～20点	B	計画がかなり達成されている
11～15点	C	計画が概ね達成されている
6～10点	D	計画があまり達成されていない
1～5点	E	計画が達成されていない

由布市 総合計画 重点戦略プラン 評価結果 年次推移表 及び 評価結果まとめ

1 総合評価(市民意識+客観指標+内部評価)

プラン	プラン名	評価年度									
		H29		H30		R1(H31)		R2(R1)			
		点数	判定	点数	判定	点数	判定	点数	判定	点数	判定
1	地域防災力強化プロジェクト	17	A	17	A	17	A	17	A		
2	みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト	14	B	14	B	15	B	15	B		
3	“市民が主体！！”コミュニティ活性化プロジェクト	15	B	15	B	14	B	14	B		
4	地域へ飛び出せ！健康マイレージプロジェクト	15	B	16	B	17	A	17	A		
5	子どもたちを包み込む支えあい・助けあいプロジェクト	17	A	16	B	18	A	18	A		
6	『由布の学び』創造プロジェクト	16	B	16	B	16	B	17	B		
7	食からはじめる健康づくり。食と農の再発見プロジェクト	14	B	15	B	16	B	16	B		
8	次世代につなげよう、持続可能な仕事づくり	16	B	14	B	15	B	15	B		
9	滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト	14	B	15	B	17	A	17	A		
10	民官学の協働による豊かな水環境創出プロジェクト	15	B	15	B	16	B	17	A		
11	由布ならではの移住・定住プロジェクト	15	B	15	B	16	B	16	B		
12	地域プロモーション推進プロジェクト	17	A	16	B	15	B	15	B		
13	ゆふツーリズム推進プロジェクト	10	C	14	B	14	B	16	B		

合計点	判定	評価内容
17点以上	A	事業・取組が十分に達成されている
12～16点	B	事業・取組がかなり達成されている
8～12点	C	事業・取組が概ね達成されている
4～7点	D	事業・取組があまり達成されていない
1～3点	E	事業・取組が達成されていない

2 審議会評価

プラン	プラン名	評価年度									
		H29		H30		R1(H31)		R2(R1)			
		点数	判定	点数	判定	点数	判定	点数	判定	点数	判定
1	地域防災力強化プロジェクト	3	C	3	C	4	B	4	B		
2	みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト	3	C	3	C	3	C	3	C		
3	“市民が主体！！”コミュニティ活性化プロジェクト	3	C	3	C	3	C	3	C		
4	地域へ飛び出せ！健康マイレージプロジェクト	4	B	4	B	4	B	4	B		
5	子どもたちを包み込む支えあい・助けあいプロジェクト	4	B	4	B	4	B	4	B		
6	『由布の学び』創造プロジェクト	4	B	4	B	3	C	4	B		
7	食からはじめる健康づくり。食と農の再発見プロジェクト	3	C	3	C	3	C	4	C		
8	次世代につなげよう、持続可能な仕事づくり	3	C	3	C	3	C	3	C		
9	滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト	3	C	3	C	3	C	3	C		
10	民官学の協働による豊かな水環境創出プロジェクト	3	C	3	C	4	B	4	B		
11	由布ならではの移住・定住プロジェクト	4	B	3	C	4	B	4	B		
12	地域プロモーション推進プロジェクト	3	C	3	C	3	C	3	C		
13	ゆふツーリズム推進プロジェクト	2	D	3	C	3	C	3	C		

点数	判定	評価内容
5点	A	事業・取組が十分に達成されている
4点	B	事業・取組がかなり達成されている
3点	C	事業・取組が概ね達成されている
2点	D	事業・取組があまり達成されていない
1点	E	事業・取組が達成されていない

3 最終評価

プラン	プラン名	評価年度									
		H29		H30		R1(H31)		R2(R1)		点数	判定
		点数	判定	点数	判定	点数	判定	点数	判定		
1	地域防災力強化プロジェクト	20	B	20	B	21	A	21	A		
2	みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト	17	B	17	B	18	B	18	B		
3	“市民が主体！！”コミュニティ活性化プロジェクト	18	B	18	B	17	B	17	B		
4	地域へ飛び出せ！健康マイレージプロジェクト	19	B	20	B	21	A	21	A		
5	子どもたちを包み込む支えあい・助けあいプロジェクト	21	A	20	B	22	A	22	A		
6	『由布の学び』創造プロジェクト	20	B	20	B	19	B	20	B		
7	食からはじめる健康づくり。食と農の再発見プロジェクト	17	B	18	B	19	B	20	B		
8	次世代につなげよう、持続可能な仕事づくり	19	B	17	B	18	B	18	B		
9	滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト	17	B	18	B	20	B	20	B		
10	民官学の協働による豊かな水環境創出プロジェクト	18	B	18	B	20	B	21	A		
11	由布ならではの移住・定住プロジェクト	19	B	18	B	20	B	20	B		
12	地域プロモーション推進プロジェクト	20	B	19	B	18	B	18	B		
13	ゆふツーリズム推進プロジェクト	12	C	17	B	17	B	19	B		

1 総合評価 + 2 審議会委員評価の合計

合計点	判定	評価内容
21点以上	A	計画が十分に達成されている
16～20点	B	計画がかなり達成されている
11～15点	C	計画が概ね達成されている
6～10点	D	計画があまり達成されていない
1～5点	E	計画が達成されていない

まとめ

～令和元年度事業に係る総合計画(重点戦略プラン)の評価について(まとめ)～

今回で、4回目となる評価を実施しました。各プランの評価については別紙のとおり報告しておりますが、全体を通して以下の意見が多かったので今後の改善をお願いします。

1) 情報発信の不足

評価開始時点から継続して、指摘されている事項です。情報発信の方法については、市報やホームページ等で行っていることと思います。しかし情報発信の必要性については、現在のコロナ禍の状況においては更に重要となることが予想されます。今後は各種制度の周知だけでなく、取り組み状況等についても積極的な周知を図っていただきたい。

2) 目標・計画を定めた取り組み

平成28年度から評価体制を実施し、重点戦略プラン(前期)に沿って評価してきましたが、計画に沿った取り組みとなっていない状況もありました。計画時点での状況と変化していることが要因となっている場合等もあるかと思えます。必要に応じて目標値・計画の修正を行って下さい。合わせて事業の実施にあっても、効果的に行うように、常に見直しを行うようにお願いします。

3) 評価に際して

指標の達成状況の理由と、次年度に向けた改善策を明示できるようにお願いします。

重点戦略プラン 個別評価調書

～令和元年度事業実施分～

地域防災力強化プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	当日参加委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「地域防災推進事業」等		事務局

計画	前期計画				後期計画		
	事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	32点	47点	54点	56点			
審議会評点 (平均点)	3点 (3.2)	3点 (3.1)	4点 (3.6)	4点 (3.7)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・目王防災は各ハフつきがある、交流もない
- ・自主防災組織数や訓練回数の150組織には無理があるのでは？⇒目標数値の再設定(後期計画で変更済み)
- ・目標値との差が大きい、長期目標と短期目標を作るべきでは？⇒目標数値の再設定(後期計画で変更済み)
- ・指標の数値はあまり変化がない、指標②も伸びが小さい？

2) 今後の取組に期待すること

- ・既存防災士への対応(方針等の策定)を行うべきでは？ ・消防団員に防災士資格取得の推進
- ・自然災害等に対する、避難等において、地域の自主的判断を促す取り組みを求める。
- ・大規模防災訓練の実施
- ・気象庁が発表する警報の変更に伴う、防災意識の教育・住民意識の高揚を！
- ・国土強靱化計画等、新たな枠組みの中でのステップアップ。

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	5点	R1年版「市民意識調査」 問8「災害等の対応 防災対応」	R1:速報値 平均値 4.66) (H29:速報値 平均値 4.47)	
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問8「災害等の対応 防災対応」	R1:速報値 平均値 2.96 (H29:速報値 平均値 2.92)	
②客観指標結果	4点 (3.5)	(3点)	自主防災組織数 H26年度 119組織	目標 R1年度時点で 150組織 実績 R1年度末時点 61組織
		(4点)	防災士配置自治区数 H26年度 69地区	目標 R1年度時点で 150地区 実績 R1年度末時点 98地区
		(2点)	防災訓練・研修回数 H26年度 50回	目標 R2年度は 150回 実績 R1年度 30回
		(5点)	防災教育回数 H26年度 2回	目標 R2年度時点で 4回 実績 R1年度 7回
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	17点			
⑤審議会 評点	4点	事業・取組がかなり達成されている		
④+⑤合計点	21点			
⑥最終評価	A	計画が十分に達成されている		

みんなで守り育てる 公共交通活性化プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	地域公共交通事業		説明担当課 事務局

計画	前期計画				後期計画		
	事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	25点	38点	49点	47点			
審議会評点 (平均点)	3点 (2.5)	3点 (2.5)	3点 (3.3)	3点 (3.1)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・公共交通の収支が整っていない、コストがかかり過ぎる現状をどうするのか？
- ・不採算性路線を採算性路線を作ってカバーするのか？ 方向性が見えない
- ・必要とする人はいるが不便等の解消策は？

2) 今後の取組に期待すること

- ・基本方針と事業実施との乖離が大きいので、計画・目標値の見直しが必要
- ・民間事業者との連携を検討しては？
- ・地域住民の「足」という観点に加え、観光客向けの2次交通としても活用できる手法も考えては？
- ・アフターコロナ下での運行方法については要検討を
- ・路線数は減らさず、大きい車ではなく、小さい車にでも変えて続けて欲しい

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	5点	R1年版「市民意識調査」 問10『公共交通網の充実』	R1:速報値 平均値 4.51 (H29:速報値 平均値 4.08)	
①市民意識 (充足)	2点	R1年版「市民意識調査」 問10『公共交通網の充実』	R1:速報値 平均値 2.38 (H29:速報値 平均値 2.81)	
②客観指標結果	3点 (2.5)	-	収支率20%未満の路線数 H26年度 25路線	目標 H32年度時点で 0路線 実績 H29年度時点で 25路線
		-	収支率20%以上の路線について、収 支率5%アップ H26年度 0路線	目標 H32年度時点で 2路線 実績 R1 年度時点で 0路線
		-	無償運送もしくは自家用有償運送等導 入検討地区 H26年度 0地区	目標 H32年度時点で 3地区 実績 H29年度時点で 0地区
		(1点)	収支率20%以上の路線数	目標 H32年度時点で 32路線 実績 R1年度時点 1路線
		(4点)	年間利用者数	目標 年間 45,000人 実績 R1年度 37,533人
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	15点			
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されてい る		
④+⑤合計点	18点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

“市民が主体!!” コミュニティ活性化プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「地域コミュニティ形成促進事業」等		事務局

計画	前期計画				後期計画		
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	※30点	44点	51点	50点			
審議会評点 (平均点)	3点 (3.0)	3点 (2.9)	3点 (3.4)	3点 (3.3)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・進捗状況が遅いと感じる。目標値の設定を見直す必要があるのでは？
- ・既に地域振興計画を立てた地域へのフォローやヒアリングが重要かと思う。
- ・地域活力創造事業は長期に行っているがマンネリ化もあるのでは？公募～成果発表を「見える化」しては？
- ・地域振興課のサポート体制は評価できる。

2) 今後の取組に期待すること

- ・地域住民が主体的になるためにも、地域づくりにおいて各種役割を担っていく人を育てていくことが大事だと考える。(地域リーダーの育成)
- ・主体は「地域住民」が担うべきだが、「まちづくりのイメージ」「地域資源の発掘」などは 外部の人の意見を聞いていく方がよい
- ・市役所内が一丸(チーム)となった取り組みに期待。

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	問8『地域コミュニティ組織活動』	R1:速報値 平均値 4.04 (H29:速報値 平均値 3.78)	
①市民意識 (充足)	3点	問8『地域コミュニティ組織活動』	R1:速報値 平均値 3.33 H29:速報値 平均値 2.94	
②客観指標結果	2点	(2点)	地域協議会設立	目標 H31年度時点で 5地区 実績 R1年度末時点 1地区
		-	地域行事参加者 H26年度 37.3%	目標 H31年度時点で50%
		(2点)	連携による事業実施数	目標 H31年度時点で 5件 実績 R1年度末時点 1件
		(2点)	地域ビジョンの作成と実行	目標 H31年度 5地区 実績 R1年度 1地区
		(2点)	地域振興計画の策定	目標 毎年 3地区 実績 R1年度 1地区
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	14点			
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されている		
④+⑤合計点	17点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

地域へ飛び出せ！ 健康マイレージプロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「健康立市推進事業」等		説明担当課 事務局

計画	前期計画				後期計画		
	事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	39点	53点	53点	54点			
審議会評点 (平均点)	4点 (3.9)	4点 (3.5)	4点 (3.5)	4点 (3.6)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・健康立市「由布市」として重要な施策だと思う。参加者の増加や取り組み認知度を上げるためにも、もっと広報を！
- ・マンネリ化しているように思われる⇒新たな取り組みの検討を
- ・市内事業所や自治区等への周知により利用者数は増えるのではないか。

2) 今後の取組に期待すること

- ・プロジェクト名「地域へ飛び出せ！」とあるように、もっと地域へ出向いた活動となるように期待
- ・ポイント到達者への景品(商品券)だけでなく、ソフト事業(参加者が望むサービス)みたいな形式も可能では？
- ・お茶の間サロン等の回数増加を検討してみては？

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考
①市民意識 (重要)	4点	R1年版「市民意識調査」 問11『地域での健康づくり』	R1:速報値 平均値 4.38 (H29 速報値 平均値 4.21)
①市民意識 (充足)	4点	R1年版「市民意識調査」 問11『地域での健康づくり』	R1:速報値 平均値 3.60 (H29:速報値 平均値 3.35)
②客観指標結果	4点	(4点) 健康マイレージ対象事業数 H27年度 27事業	目標 H32年度時点で 50事業 実績 R1年度時点 38事業
		(4点) 健康マイレージ応募者数 H26年度 316名	目標 H32年度時点で 1,500名 実績 R1年度時点 1,040名
		(4点) 健康づくりリーダー派遣者数 H26年度 延474名	目標 H32年度時点で 700名 実績 R1年度時点で 436名
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施	
④合計点 (総合評価)	17点		
⑤審議会 評点	4点	事業・取組がかなり達成されている	
④+⑤合計点	21点		
⑥最終評価	A	計画が十分に達成されている	

子どもたちを包み込む 支えあい・助けあいプロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「地域子育て支援づくり事業」等		説明担当課 事務局

計画	前期計画				後期計画		
	事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	36点	55点	57点	57点			
審議会評点 (平均点)	4点 (3.6)	4点 (3.6)	4点 (3.8)	4点 (3.8)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・一定の成果が上がっている取り組みだと思う。
- ・事業連携・政策連携を十分とって、効果をあげている。⇒事業の整理統合も考えては？

2) 今後の取組に期待すること

- ・サポーターの活躍の場をもっと増やしていけないか？
- ・子どもたちの安全を最重点にしたサポート活動の更なる充実を期待する。
- ・児童クラブ/待機児童等は、地域によって状況が異なるため、環境づくりの今後が課題では？

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考
①市民意識 (重要)	5点	R1年版「市民意識調査」 問13『子育て支援活動』	R1:速報値 平均値 4.51 (H29:速報値 平均値 4.22)
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問13『子育て支援活動』	R1:速報値 平均値 3.22 (H29:速報値 平均値 2.58)
②客観指標結果	5点	(-)	家族の日を推進 目標 年3回 実績 H30年度 0回
		(5点)	子どもの居場所づくり H27年度 20施設 目標 H32年度時点で 23施設 実績 R1年度末時点 22施設
		(5点)	子育てサポーターの養成 目標 H32年度時点で 50人 実績 R1年度末時点 82人
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施	
④合計点 (総合評価)	18点		
⑤審議会 評点	4点	事業・取組がかなり達成されて いる	
④+⑤合計点	22点		
⑥最終評価	A	計画が十分に達成されている	

『由布の学び』 創造プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「地域と協働する学校づくり推進事業」 等		事務局

計画	前期計画				後期計画		
	事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	35点	55点	52点	55点			
審議会評点 (平均点)	4点 (3.5)	4点 (3.6)	3点 (3.4)	4点 (3.6)			

審議委員からの意見

1)取組状況について

- ・「連携型中高一貫教育推進事業」については、特色ある学科づくり⇒地元企業への就職支援につなげていければ効果があると考えます。
- ・「発明クラブ」を発足(「株デンケン」の支援により)
- ・「由布の学び検定」など、地域資源について学ぶ機会をもっと増やしてもよいと考えます。

2)今後の取組に期待すること

- ・大人と子どもが郷土料理をつくる体験を行い地産地消を考えていくなど、幅広い活動となるように工夫を
- ・コロナ禍での子供達の安全を守り取り組みを進める必要がある

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	R1年版「市民意識調査」 問12『生涯における学び』	R1:速報値 平均値 4.08 (H29:速報値 平均値 3.82)	
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問12『生涯における学び』	R1:速報値 平均値 3.12 (H29:速報値 平均値 2.95)	
②客観指標結果	5点 (4.5)	(5点)	コミュニティスクール設置校数 H27年度 4校	目標 H31年度時点で 14校 実績 R1年度末 13校
		(4点)	「子ども由布の学び検定」の実施	目標 H32年度時点で 30人 実績 R1年度中 25人
		-	読み聞かせを実施している家庭の割合 H26年度 81.4%	目標 H32年度時点で 90%
		(5点)	生徒(中学3年生)1人当たりの学校図書 貸出冊数	目標 1人あたり 20冊 実績 R1年度 21.3冊
		(4点)	公立図書館貸出冊数	目標 160,000冊 実績 R1年度 143,275冊
		(5点)	家庭教育支援講座 受講数 H26年度 85人	目標 H32年度時点で 135人 実績 R1年度 138人
(4点)	地域人材派遣数 H26年度 564人	目標 H32年度時点で 600人 実績 R1年度 527人		
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	17点			
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されてい る		
④+⑤合計点	20点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

食からはじめる健康づくり。 食と農の再発見プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「地産地消推進事業」等		説明担当課 事務局

計画	前期計画				後期計画		
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	34点	40点	51点	54点			
審議会評点 (平均点)	3点 (3.4)	3点 (2.6)	3点 (3.4)	4点 (3.6)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・地産地消の取り組みは重要で良いことだが、(安全だとしても)規格や決まりを重要視しすぎていないか？
- ・市内農産物30%に向けた取り組み内容が見えない。どのような取り組みをするのか？
- ・健康施策との連携は出来ているのか？

2) 今後の取組に期待すること

- ・学校給食だけではなく、旅館・ホテル等との連携も可能か？
- ・政策間連携が重要なので、しっかりと連携をとってもらいたい
- ・6次化の本質が掴めていない感がある。(商品の運輸体制が整っていないのでは？)
- ・更なる消費増に向けて新たな活動を希望、ゆふイズムとの協働を

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	R1年版「市民意識調査」 問15『農商観の連携』	R1:速報値 平均値 4.14 (H29:速報値 平均値 3.60)	
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問15『農商観の連携』	R1:速報値 平均値 3.11 (H29:速報値 平均値 2.36)	
②客観指標結果	4点	-	行事参加者数	目標 H32年度時点で 延1,000人
		(4点)	市内農産物使用率 H26年度 20.7%	目標 H32年度時点で 30% 実績 R1年度時点 21%
		-	市内産食材への愛着度	目標 H32年度時点で 50%
		(4点)	市内農産物使用率(金額ベース) H26年度 21%	目標 H32年度時点で 30% 実績 R1年度 21%
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	16点			
⑤審議会 評点	4点	事業・取組がかなり達成されて いる		
④+⑤合計点	20点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

次世代につなげよう、 持続可能な仕事づくりプロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20~9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	就農支援事業		説明担当課
	商工振興活性化事業		

計画	前期計画				後期計画		
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	34点	44点	51点	50点			
審議会評点 (平均点)	3点 (3.4)	3点 (2.9)	3点 (3.4)	3点 (3.3)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・成果が上がっていないと感じる。より効率性の高い取組みを
- ・新規就農者が増えていることは喜ばしいことと評価できる。
- ・成果を出すのが非常に難しいプロジェクトだと思う。

2) 今後の取組に期待すること

- ・意見を汲み取り、企業間連携や企業と行政の連携施策などを構築するよう努めてほしい
- ・異業種交流会の増加
- ・行政内で縦割りが事業達成の足かせになっていないか？連携をより充実させる必要がある。
- ・商工会や金融機関等と連携した「創業・事業継承セミナー」等を企画してはどうか

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	R1年版「市民意識調査」 問14『農林畜産業の持続活動』	R1:速報値 平均値 4.30 (H29:速報値 平均値 3.73)	
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問14『農林畜産業の持続活動』	R1:速報値 平均値 2.86 (H29:速報値 平均値 2.24)	
②客観指標結果	3点 (3.0)	(2点)	異業種交流会の開催数	目標 年/5回 実績 R1年度 1回
		(5点)	就労・就農相談件数 年3件	目標 年/30件 実績 就農分)R1年度 27件
		(2点)	由布市内新規就労者数 年 5人	目標 年/25人 実績 (創業補助)R1年度 4人
		(2点)	研修先となる先進農家数 H27年度 3軒	目標 H32年度時点で 20軒 実績 R1年度 6軒
		(4点)	新規就農者数	目標 年/10人 R1年度 8人
		(4点)	就農研修生	目標 年/3人 R1年度 2人
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	15点			
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されてい る		
④+⑤合計点	18点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

滞在型・循環型保養温泉地 実現プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名	
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「観光振興事業」等		説明担当課	事務局

計画	前期計画				後期計画		
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	26点	47点	46点	49点			
審議会評点 (平均点)	3点 (2.6)	3点 (3.1)	3点 (3.1)	3点 (3.3)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・由布市観光協会の活動が見えてこない
- ・由布市内の循環が未だ不十分。由布院に滞在する観光客を域内の観光地にも循環させていく必要がある。
- ・各観光協会へ補助をしているが、団体毎で活動に温度差がある。地域性もあるが、一定の指導が必要では？
- ・観光資源に限られる中で、循環するのは難しいのでは？

2) 今後の取組に期待すること

- ・休日のJR以外の公共交通導入へも検討してほしい。
- ・まちづくり観光局が組織され、「何のために、どのような活動を」という事を市民に伝えるべきでは？
- ・まちづくり観光局及び各観光協会6団体のさらなる意欲的な活動に期待。
- ・ゆふいづむとの連携を

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	問17『地域資源を活かした交流』	R1:速報値 平均値 3.72 (H29:速報値 平均値 3.27)	
①市民意識 (充足)	3点	問17『地域資源を活かした交流』	R1:速報値 平均値 3.00 (H29:速報値 平均値 2.21)	
②客観指標結果	5点	(-)	平均滞在日数 H26年度 1.10日	目標 H32年度時点 1.13日以上 実績 H30年度時点 -日
		(5点)	年間宿泊客数 H26年度 75.0万人	目標 H32年度時点 77.1万人 実績 R1年度時点 1,005万人
		(5点)	観光交流者	目標 400万人 実績 R1年度 439万人
		(5点)	観光消費額	目標 14,200百万円 実績 R1年度 15,908百万円
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	17点			
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されている		
④+⑤合計点	20点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

民官学の協働による 豊かな水環境創出プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20～9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「豊かな水環境創出事業」等		説明担当課 事務局

計画	前期計画				後期計画		
	事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	34点	43点	52点	54点			
審議会評点 (平均点)	3点 (3.4)	3点 (2.8)	4点 (3.5)	4点 (3.6)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・少しでも多くのマンパワーが発揮できるよう、参加体制の仕組みづくりが必要。
- ・民間組織と協働していることは評価できるが、予算が少なすぎるのでは？
- ・現在の取り組みで、目標を達成できるのか疑問

2) 今後の取組に期待すること

- ・事業の括りをまとめ、わかりやすい取組みにしてもらいたい。
- ・水環境は非常に大切な事であり、由布市内だけでなくその上下流で暮らす市民にも関わるため、各団体への啓発活動も積極的に実施してもらいたい

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	5点	R1年版「市民意識調査」 問16『豊かな水資源の確保』	R1:速報値 平均値 4.63 (H29:速報値 平均値 4.24)	
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問16『豊かな水資源の確保』	R1:速報値 平均値 3.02 (H29:速報値 平均値 2.69)	
②客観指標結果	5点 (4.5)	(4点)	調査研究件数 H26年度 1件	目標 H32年度時点で 5件 実績 R1年度 3件
		(5点)	環境学習会等開催数 H26年度 10回	目標 H32年度時点で 30回 実績 R1年度 38回
		(4点)	モデル事業数	目標 H32年度時点で 3事業 実績 R1年度 2事業
		(5点)	上記3つの取り組みへ担い手として参加した市民の数 H26年度 延20人	目標 H32年度時点で 延100人 実績 R1年度中 245人
③行政取組状況結果	4点	見直して事業実施		
④合計点 (総合評価)	17点			
⑤審議会 評点	4点	事業・取組がかなり達成されている		
④+⑤合計点	21点			
⑥最終評価	A	計画が十分に達成されている		

由布ならではの 移住・定住プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20~9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「由布市に住みたい事業」等		事務局

計画	前期計画				後期計画		
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	35点	47点	57点	56点			
審議会評点 (平均点)	4点 (3.9点)	3点 (3.1)	4点 (3.8)	4点 (3.7)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・取り組みがマンネリ化してきているように思う
- ・社会増となったことは評価できる⇒強みを生かす定住施策の推進に期待
- ・体験事業が実施されなかったことは残念(自然災害・コロナ対策であったため、仕方がないと思うが)

2) 今後の取組に期待すること

- ・空き家の掘り起こしには、各種イベントでの呼びかけが効果的かと思う。
- ・子育て・教育・環境景観等、由布市の魅力を最大限に活用したPRを進めてもらいたい。
- ・Uターンを加速する取り組みを検討してもらいたい
- ・「由布市」としての強みを生かす定住施策の推進に期待
- ・県外在住の出身者による情報発信

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	R1年版「市民意識調査」 問19『UIJターン等の推進活動』	R1:速報値 平均値 4.08 (H29:速報値 平均値 3.58)	
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問19『UIJターン等の推進活動』	R1:速報値 平均値 2.56 (H29:速報値 平均値 2.15)	
②客観指標結果	5点 (4.6)	(5点)	人口動態における社会動態の推移数 H26年度 △115人	目標 H32年度時点で △50人 実績 R1年度 75人
		(5点)	・空き家バンク利用登録者数	目標 H32年度時点で 200件 実績 R1年度末 400件
		(3点)	移住コンシェルジュ人数 H27年度 1人	目標 H32年度時点で 2人 実績 R1年度末 1人
		(5点)	・空き家バンク新規登録件数	目標 年25件 実績 R1年度 30件
		(5点)	・移住・定住施策を活用した移住定住者数	目標 年45人 実績 R1年度 45人
③行政取組状況結果	4点	見直して事業実施		
④合計点 (総合評価)	16点			
⑤審議会 評点	4点	事業・取組がかなり達成されている		
④+⑤合計点	20点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

地域プロモーション推進プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20~9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	実績概要参照 「庄内神楽伝統継承事業」等		説明担当課 事務局

計画	前期計画				後期計画		
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	※33点	48点	48点	46点			
審議会評点 (平均点)	3点 (3.3)	3点 (3.2)	3点 (3.2)	3点 (3.1)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・せっかくの神楽をどう生かすか？というプランにハッキリしてはどうか
- ・ふるさと納税制度を活用してはどうか
- ・目標のハッキリしないプロジェクトのように思える。⇒計画の見直しを
- ・誰にむけてプロモーションしていくか、ターゲティングの再検討が必要ではないか

2) 今後の取組に期待すること

- ・プロジェクト全体をプロモーションしていく必要があるため、計画・指標の見直しが必要
- ・マナー啓蒙や本質的な地域情報の発信をより多く進めていけばどうか？
- ・庄内神楽に追随する由布市特有の目玉イベント、伝承芸能の発掘
- ・メディア露出(SNS含む)で一大ムーブメントを作る。生み出す努力を

評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考
①市民意識 (重要)	4点	R1年版「市民意識調査」 問18『地域の魅力を発信』	R1:速報値 平均値 4.12 (H29:速報値 平均値 3.69)
①市民意識 (充足)	3点	R1年版「市民意識調査」 問18『地域の魅力を発信』	R1:速報値 平均値2.97 (H29:速報値 平均値 2.50)
②客観指標結果	4点 (4.3)	-	地域の魅力を再発見・共有するイベントの開催 目標 5回/年
		(5点)	国内向けの戦略的プロモーションの試行回数 目標 延2回/年 実績 R1年度 3回
		(3点)	国外向けの戦略的プロモーションの試行回数 目標 延2回/年 実績 R1年度 1回
		(5点)	神楽イベント参加者数 目標 H30年度に 7,000人 実績 R1年度 7,060人
③行政取組状況結果	4点	見直して事業実施	
④合計点 (総合評価)	15点		
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されている	
④+⑤合計点	18点		
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている	

ゆふツーリズム推進プロジェクト

審議会評価 (ヒアリング日時)	書面評価 (8/20~9/30)	参加審議委員数	15名
具体的取組事業名 (ヒアリング事業)	都市農村交流推進事業		説明担当課 事務局
	クアオルト推進事業		

計画	前期計画				後期計画		
事業計画年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
評価年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審議会評点合計	19点	42点	47点	49点			
審議会評点 (平均点)	2点 (1.9)	3点 (2.8)	3点 (3.1)	3点 (3.3)			

審議委員からの意見

1) 取組状況について

- ・グリーンツーリズムによる「交流」の成果は評価できる。
- ・クアオルト構想の原点に立ち返った取り組みが望まれる。全国協議会への加盟による効果は？
- ・ツーリズムを推進する民間組織のニーズにあった支援が出来ているのか不明

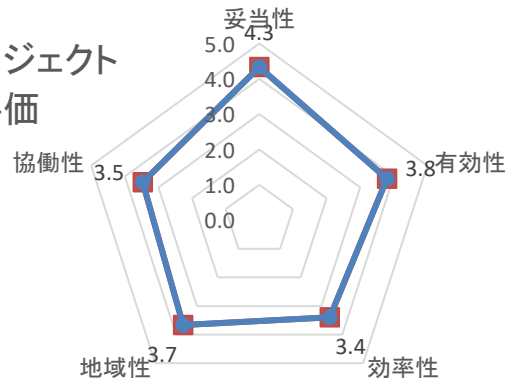
2) 今後の取組に期待すること

- ・住みよいまちづくりに向けた住民全体の意識啓発が必要。
- ・ツーリズムを推進するのは、公共ではなく民間では？情報発信・民間連携に努めてもらいたい
- ・ゆふイズムの今後に期待。

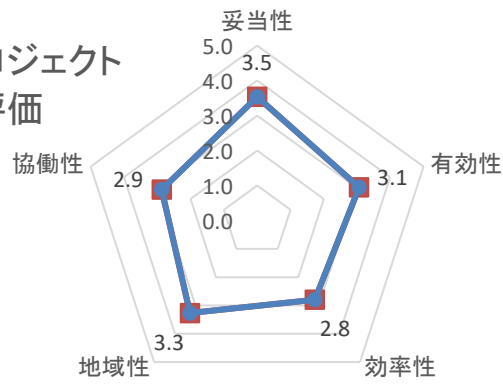
評価項目集計

評価項目	評点	参考	備考	
①市民意識 (重要)	4点	問17『地域資源を活かした交流』	R1:速報値 平均値 3.72 (H29:速報値 平均値 3.27)	
①市民意識 (充足)	3点	問17『地域資源を活かした交流』	R1:速報値 平均値 3.00 (H29:速報値 平均値 2.21)	
②客観指標結果	4点	-	企画、実施したツーリズムの新規メニュー数	目標 H32年度時点で 20件
		-	企画、実施に参加した市民の数	目標 H32年度時点で 延20人
		-	市民や企業向け講座の受講者数	目標 H32年度時点で 延100人
		(5点)	受入農家数(研究会員数)	目標 H32年度時点で 40人 実績 R1年度 42人
		(3点)	農泊及び体験者数	目標 H32年度時点で 3,500人 実績 R1年度 1,825人
(4点)	市内学生農泊体験者数	目標 H32年度時点で 25人 実績 R1年度 12人		
③行政取組状況結果	5点	継続して事業実施		
④合計点 (総合評価)	16点			
⑤審議会 評点	3点	事業・取組が概ね達成されている		
④+⑤合計点	19点			
⑥最終評価	B	計画がかなり達成されている		

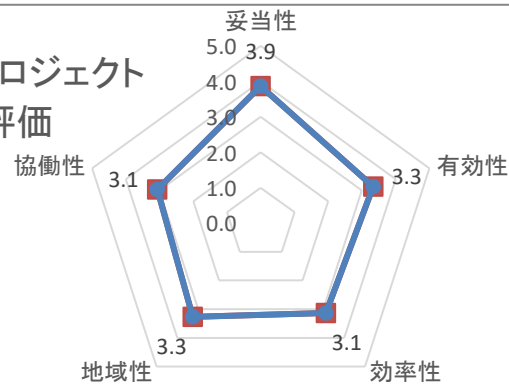
地域防災力強化プロジェクト (令和2年度)評価



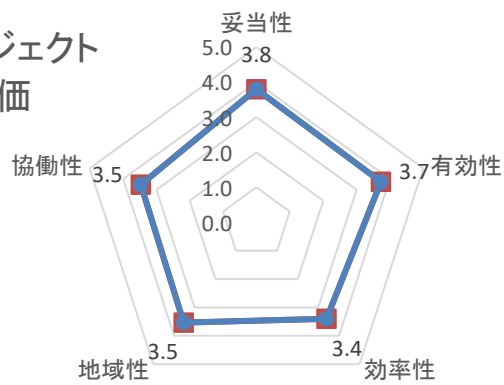
公共交通活性化プロジェクト (令和2年度)評価



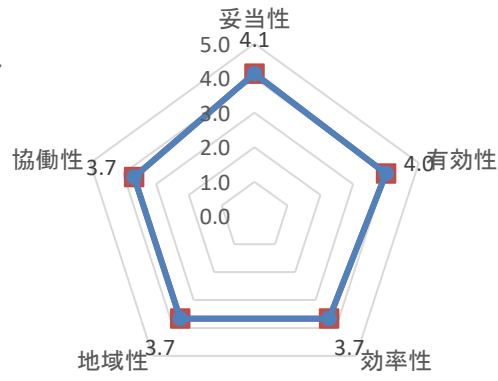
コミュニティ活性化プロジェクト (令和2年度)評価



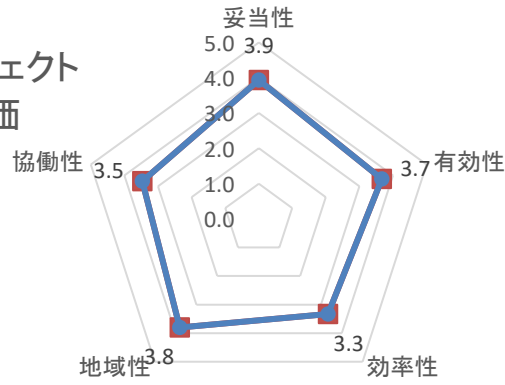
健康マイレージプロジェクト (令和2年度)評価



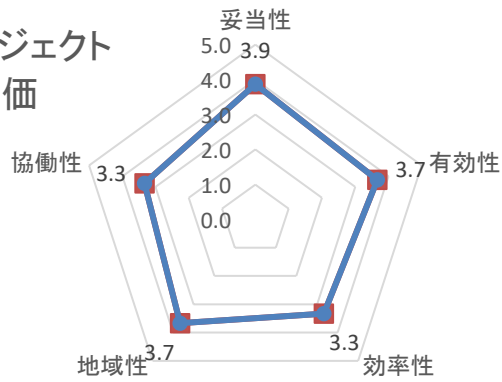
「子ども」プロジェクト (令和2年度)評価



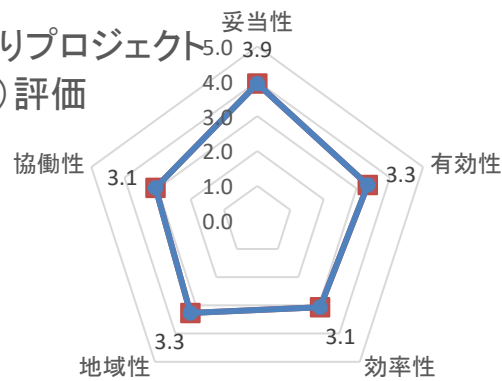
「由布の学び」プロジェクト (令和2年度)評価



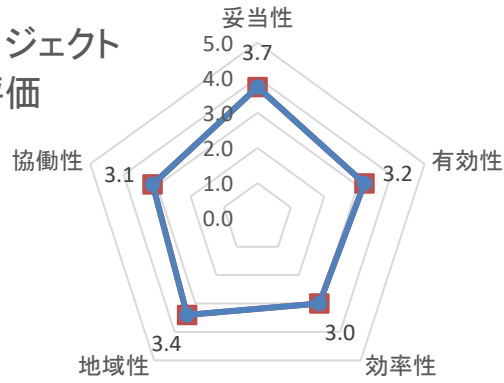
食と農の再発見プロジェクト (令和2年度)評価



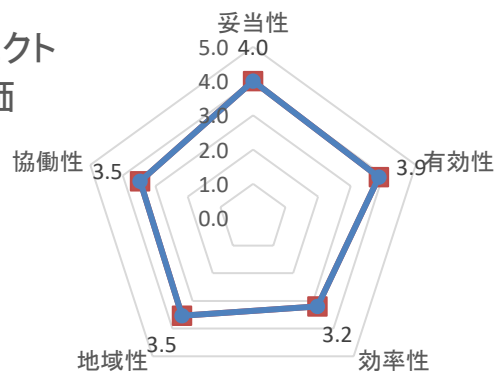
持続可能な仕事づくりプロジェクト (令和2年度)評価



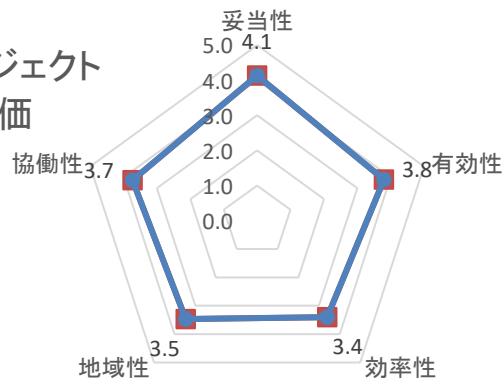
保養温泉地実現プロジェクト (令和2年度)評価



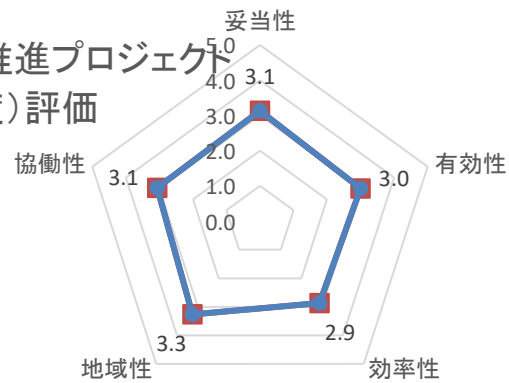
水環境創出プロジェクト (令和2年度)評価



移住・定住推進プロジェクト (令和2年度)評価



地域プロモーション推進プロジェクト (令和2年度)評価



ゆふツーリズム推進プロジェクト (令和2年度)評価

